

令和元年度日本小児外科学会
第4回定例理事会議事録

日 時：令和元年 9 月 25 日（水） 11：00～16：00

会 場：大阪大学東京オフィス

出席者：田尻達郎（理事長）、増本幸二（副理事長）、山高篤行（会長・理事）、黒田達夫（次期会長・理事）、臼井規朗、金森 豊、野田卓男、浮山越史、大植孝治、田中 潔（以上理事）、窪田正幸、八木 實（以上監事）、越永従道（前理事長）、藤野明浩（庶務委員長）、浦尾正彦（財務会計委員長）、照井慶太（庶務副委員長）、上原秀一郎（財務会計副委員長）、宮野 剛（庶務委員）、米田光宏（施設認定委員会委員長）、米倉竹夫（第 35 回秋季シンポジウム会長）、廣部誠一（第 36 回秋季シンポジウム会長）、仁田尾慶太（事務局）
欠席者：小野 滋（専門医認定委員会委員長）、古村 眞（専門医制度庶務委員長）

議事案件：

議 事：

1. 第3回定例理事会の議事録署名人は、臼井規朗理事、金森 豊理事とした。
2. 令和元年度第3回定例理事会議事録につき、事前配信された内容について確認され、修正点等あれば1週間をめどに事務局に連絡することとした。
3. 審議事項
 - 1) 第 57 回学術集会について（山高会長、宮野庶務委員）
山高会長および宮野庶務委員より資料に基づき、進捗状況が報告され、承認された。
日時：令和 2 年 5 月 21 日（木）、22 日（金）、23 日（土）
会場：都市センターホテル
テーマ：小児医療システムの擁護と支援：子どもが最初、いつだって
 - 2) 第 58 回学術集会について（黒田次期会長）
黒田次期会長より、進捗状況が報告され、承認された。
日時：令和 3 年 4 月 28 日（水）、29 日（木）、30 日（金）
会場：パンフィコ横浜ノース
 - 3) 第 35 回秋季シンポジウムについて（米倉秋季シンポジウム会長）
米倉秋季シンポジウム会長より資料に基づき、進捗状況が報告され、承認された。
日時：令和元年 10 月 19 日（土）
会場：大阪国際交流センター
テーマ：小児集中治療
 - 4) 第 36 回秋季シンポジウムについて（廣部次期秋季シンポジウム会長）
廣部次期秋季シンポジウム会長より資料に基づき、進捗状況が報告され、承認された。

日時：令和2年11月7日（土）
会場：一橋講堂
テーマ：手術の新しいデバイスと工夫

- 5) 第37回秋季シンポジウムについて（金森次々期秋季シンポジウム会長）
金森次々期秋季シンポジウム会長より、進捗状況が報告され、承認された。
日時：令和3年10月30日（土）
会場：ベルサール神田
テーマ：小児外科疾患に対する再生医療・細胞療法研究と応用

6) 各種委員会報告および審議事項

(1) 庶務委員会（藤野委員長）

藤野委員長より、資料に基づき報告がなされた。

2019年6月末現在の会員数は、評議員を除く正会員1,755名（うち海外1名）、評議員324名、名誉会員57名（うち海外5名）、特別会員71名（うち海外1名）の合計2,207名である。また、厚生労働省より行政処分一覧のリストが届きチェックしたところ、本会の会員は含まれていなかったと報告された。

(2) 財務会計委員会（浦尾委員長）

浦尾委員長より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・会員管理システムについて、NTT-PC が事業撤退して困った事態が以前に起きたので、学会支援機構（CB21）と覚書のようなものを取り交わす方向で進めている。
- ・「先天性高インスリン血症診療ガイドライン」の転載申請に際し、共同で発行している日本小児内分泌学会から、製薬企業が営利目的で転載申請してきた場合の料金の足並みを揃えたいとの申し出があり、今回に関しては規定が定まっていないため、日本小児内分泌学会と同額の発行部数1部あたり20円（税別）の転載料で進めることとし、他学会の情報を調べて本会としての規定づくりを始めることとした。

(3) 専門医制度委員会（米田施設認定委員会委員長）

米田施設認定委員会委員長より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・特定教育関連施設に関する規定を現在施設認定委員会で検討を進めていると報告があり、3年後に認められなかった場合のテクニカル部分がNCDとして対応できるかどうかを確認する必要があると意見が出された。
- ・連動研修については進捗がない。

(4) 機関誌委員会（大植担当理事）

大植担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・追悼文執筆者について、岩喬先生分を今村洋二先生、高橋英世先生分を大沼直躬先生、中田幸之助先生分を北川博昭先生に依頼することとした。
- ・直近の投稿論文の採択状況（2019.7-8月）は新規投稿 17 編（原著 4 編、症例報告 12 編、編集者への手紙 1 編）、8 編/月のペースで、査読辞退はなし。

（5）国際・広報委員会（田尻担当理事）

田尻担当理事より、以下の点について報告・提案がされ、承認された。

- ・9月4日にホームページがリニューアルされたと報告され、総合調整委員会の検討を受け、小児外科専門医のいる病院と小児外科医を目指す方への施設掲載の更新を国際・広報委員会で検討することとなった。

（6）保険診療委員会（浮山担当理事）

浮山担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・次回技術新設及び改定の要望案件について、検査や処置も加えて、今年中にメール審議を行うこととしたと報告があり、前回は学会ホームページから全会員に希望を募ったところ 0 件であったが、前回同様学会ホームページから全会員に希望を募るとともに、委員会内で抽出して進める。
- ・大建中湯が、不採算品再算定願を理事会から提出する予定であることを、委員会で再度検討してほしいと理事長から打診があったが、大建中湯が不採算品であるのかどうかの把握ができていないため、現段階では承認できなかったと報告された。改めて不採算品であることの説明をツムラに求めることとした。

（7）教育委員会（大植担当理事）

大植担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・「優性」、「劣性」という用語に替えてよりよい遺伝学用語について委員会で検討し、表出性、潜在性という用語を提案した。

（8）学術・先進医療検討委員会（臼井担当理事）

臼井担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・ホームページ掲載の「小児外科で治療する病気」の改訂について、合計 43 疾患の改訂案について、前回の理事会以降 2 週間理事からの修正意見を募ったが、特に修正意見はみられず、「小児外科で治療する病気」について、9月にリニューアルされたホームページに掲載された。
- ・全国規模の学術アンケート調査の規約改定について、これまで全国規模のアンケート調査終了後の学会報告が徹底されていなかったため、昨期委員会において規約改定案と依頼書式案が作成されたと報告があり、規約委員会より、「報告期限はアンケート結果集計完了後原則として 6 か月以内」とあるが、いつをもって「アンケート結果集計完了」とするかが不明確との意見が提出されたが、原案通り規定改定について承認

された。委員長から事務局に指示し、報告が出ていない所に請求することとした。

(9) 倫理・医療安全管理委員会（野田担当理事）

野田担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

・「高吸収性樹脂玩具の誤飲に対する注意喚起」-学会員および一般の方々への周知に関する答申が提出され、学会の HP に注意喚起の文書（写真入り）を出来るだけ目を引くような形で、国民生活センターの文書を参考に倫理・医療安全管理委員会が作成し、掲載（会員への個別メールは不要）する。四者協には理事長名で小児期外科系関連学会協議会会長の田口先生に報告する。

(10) データベース委員会（田中担当理事）

田中担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

・医療品質評価論文の著者の所属については、各著者の所属施設と日本小児外科学会委員会名を付記する形と改めて確認された。

・NCD データ利用研究の公募研究の件、申請された 2 件について「専門医、指導医取得者情報」が倫理上の問題があるため、各申請者には研究計画書を書き直してもらうよう連絡し、修正されていれば委員会で承認し、次回理事会で修正された研究計画書を事後報告することとして進めることとした。

(11) 小児救急検討委員会（田中担当理事）

田中担当理事より、以下の点について報告がされ、承認された。

・台風 15 号で影響のあった千葉県について、災害対策本部は立ち上がらなかったが、千葉県内に勤務している評議員に情報提供を求めたことが報告された。

・9 月 22 日、23 日に PALS Provider Course が開催され 3 名の参加があった。参加者が少ないため、施設長宛に若手医師の参加を促すメールを配信したと報告された。

(12) トランジション検討委員会（田中担当理事）

田中担当理事より、以下の点について報告がされ、承認された。

・尾花和子評議員に委員会の顧問に就任いただきたいと提案があり、承認された。

(13) ワークライフバランス検討委員会（浮山担当理事）

浮山担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

・第 7 回講演会を 10 月 18 日に開催し、今年も日本医師会との共催で行うことが報告された。日本専門医機構の単位認定に関して、今年は時間の関係で難しいので、来年は申請する方向で検討を進めることとした。

・旧ホームページで掲載していたインタビュー記事を復活させたいと相談があり、再度掲載することとした。

・副委員長に東間未来委員、薄井佳子委員が提案され、承認された。

(14) 規約委員会（金森担当理事）

金森担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・委員会規則の統一を図った。

(15) NCD連絡委員会（臼井担当理事）

臼井担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・第9回NCD小児外科領域会議は、第56回日本小児外科学会学術集会中の2019年5月23日第1会場グランドホールにおいて、およそ60余名の参加者を得て開催された。

- ・NCDへの追加・変更要望術式

2020年度の小児外科追加・変更要望は、6月14日に締め切られ「NQ0730：腹腔鏡補助下経皮的内視鏡下胃瘻増設術」の「NQ0813：腹腔鏡補助下胃瘻増設術（経皮的内視鏡下，経皮的，開腹併用を含む）」への変更希望のみを採用してNCDに提出した。

最終的に、NCD術式では心臓血管外科領域の新規2術式が採用され、小児外科領域の名称変更1術式が承認された。

- ・Auditとサイトビジット

2017年の症例数の上位20施設から乱数表を用いて、NPO岡山医療センター、自治医大栃木こども医療センター、埼玉県立小児医療センター、神奈川県立こども医療センターの4施設が選択され、近々Audit（サイトビジット）を実施予定である。

(16) ガイドライン委員会（金森担当理事）

金森担当理事より資料に基づき、以下の点について報告がされ、承認された。

- ・新規にガイドライン5件をHP上に掲載した。
- ・学会主導ガイドライン作成について、進捗が報告された。
- ・今後の学会主導のガイドライン作成について議論がされ、慎重に進めるほうがよいだろうとの意見が出された。

(17) 総合調整委員会（増本委員長）

増本委員長より資料に基づき、以下の点について検討を行ったと報告がなされた。

- ・学術集会のあり方について
- ・理事会のあり方について
- ・学会としての小児外科専門医の地域ごとの適正数の検討
- ・小児外科関連研究会の今後のあり方についての提言
- ・学生、若手医師のリクルート・育成するための具体的方策は何か
- ・海外における手術症例を利用した専門医・指導医育成システム作りについて

(18) 日本外科学会理事会報告（越永前理事長）

越永前理事長より資料に基づき、以下の項目の日本外科学会の定例理事会報告がされ

た。

- ・令和2年度専門研修プログラム等に対する意見及び要請書
- ・女性理事の委嘱

(19) 四者協報告（越永前理事長）

越永前理事長より資料に基づき、以下の項目の四者協報告がされた。

- ・成育基本法について
- ・便カラーカードの活用に関わる依頼について

7) 事業計画について（藤野庶務委員長）

藤野庶務委員長より資料に基づき、令和元年度事業計画を作成したと報告があり、各委員会担当理事に内容の確認依頼をし、次回理事会で再度報告することとした。

8) 役員・委員会名簿の確認について（田尻理事長）

田尻理事長より資料に基づき、各委員会から提出された委員名簿の確認依頼がされ、承認された。

9) Vascular Access Device 研究会の後援名義について（田尻理事長）

田尻理事長より資料に基づき、Vascular Access Device 研究会から後援依頼が届いたと報告があり、承認され、学会ホームページの関連団体のページにリンクを貼ることとした。

4. 報告事項

1) 理事長報告（田尻理事長）

(1) 第2回メール審議報告（日本医学会医学用語管理委員会からの、遺伝学用語に関するアンケート回答について）について、全会一致にて承認されたことが報告された。

(2) 第3回メール審議報告（学術アンケート調査申請について）について、全会一致にて承認されたことが報告された。

(3) 日本医療機能評価機構からの寄贈本「NEWS LETTER9月号」を受領した。

(4) 日本製薬工業協会からの寄贈本「製薬協ニューズレターNo.192」を受領した。

(5) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.365」を受領した。

(6) 厚生労働省からの寄贈本「医薬品・医療機器等安全性情報 No.366」を受領した。

(7) 最高裁判所からの寄贈本「裁判の迅速化に係る検証に関する報告書」を受領した。

(8) 日本小児がん研究グループからの寄贈本「JCCGPress Vol.11」を受領した。

(9) 日本外科学会からの寄贈本「社会保険診療報酬に関する改正要望書」を受領した。

(10) 日本医学会からの寄贈本「日本医学会分科会一覧」を受領した。

(11) 日本がん治療認定医機構からの寄贈本「がん治療認定医教育セミナーテキスト第13版」を受領した。

- (12) 国立循環器病研究センターからの通信文「移転開設のお知らせ」を受領した。
- (13) 日本消化器外科学会からの通信文「理事長交代のお知らせ」を受領した。
- (14) 日本看護科学学会からの通信文「理事長交代のお知らせ」を受領した。
- (15) 日本臨床細胞学会からの通信文「理事長交代のお知らせ」を受領した。
- (16) 日本産科婦人科学会からの通信文「理事長交代のお知らせ」を受領した。
- (17) 日本ペインクリニック学会からの通信文「理事長交代のお知らせ」を受領した。
- (18) 日本臨床腫瘍学会からの通信文「理事長交代のお知らせ」を受領した。
- (19) 日本外科学会からの通信文「日本外科学会学術集会への演題応募における倫理的手続きに関する指針」を受領した。
- (20) 日本結核病学会からの通信文「学会名称変更のお知らせ」を受領した。
- (21) 日本小児看護学会からの通信文「理事長交代のお知らせ」を受領した。
- (22) 日本遺伝性腫瘍学会からの通信文「学会名称変更のお知らせ」を受領した。
- (23) 日本臨床腫瘍学会からの通信文「理事長交代のお知らせ」を受領した。
- (24) 日本医学会からの通信文「誤接続防止コネクタの導入について」を受領した。
- (25) 日本小児期外科系関連学会協議会からの通信文「災害時小児周産期リエゾン連絡協議会への入会案内」を受領した。
- (26) 日本医学会からの通信文「『JMA Journal』PR 動画の完成について」を受領した。
- (27) 日本医学会からの通信文「経腸栄養分野の小口径コネクタ製品の切替えに関するPMDA 医療安全情報の発行について」を受領した。
- (28) 日本医学会からの通信文「第 5 回研究倫理教育研修会議事要旨日本医学会ホームページ公開のお知らせ」を受領した。
- (29) 日本医学会からの通信文「アテゾリズマブ(遺伝子組換え)製剤の最適使用推進ガイドライン(小細胞肺癌)の作成及び最適使用推進ガイドライン(非小細胞肺癌)の一部改正について」を受領した。
- (30) 日本医学会からの通信文「膜型血漿分離器における接続用ポートの誤接続防止のための形状変更とその対応について」を受領した。
- (31) 日本医学会からの通信文「NICU に入院している新生児の痛みのケアガイドライン委員会委員の派遣」を受領した。
- (32) 日本医学会からの通信文「医療用医薬品の販売情報提供活動に関するガイドラインに関する Q&A について (その 3)」を受領した。
- (33) 日本外科学会からの通信文「サブスペシャリティ学会との協議」を受領した。サブスペシャリティの理事長同士の会合があり、意見交換を行ったと報告された。

2) その他

・浮山理事より、J-STAGE に掲載されている日本小児外科学会雑誌の月間ランキングが腫に関する記事が上位を占めていると報告があり、学会の品位を汚す恐れもあるので、非表示にできないかを編集部の中西印刷を通じて科学技術振興機構に申し入れすることとした。

3) 次回定例理事会日程の確認 (田尻理事長)

次回理事会は令和元年10月16日（水）10：00～14：00 大阪国際交流センター中会議場銀杏にて開催することが確認された。

理事長 _____

理事 _____

理事 _____